

令和7年度習志野市立第三中学校【学校評価のまとめ】

生徒はのびのびと明るく目標をもち、学校生活を楽しんでいます。現在、行事や部活動に積極的に取り組み、各方面でその実力を発揮しています。ただし、学習面においては、生徒・保護者・教職員が共に課題としている点として、「生徒自らが探究心をもって課題や疑問を追及して考えること」が弱い傾向にあります。今年度から新研究主題に変え、生徒の自らの学びに着目した研究を進めています。学校での学びが家庭学習の継続につながり連動していくよう、支援してまいります。各御家庭での生徒の睡眠時間確保という点で課題が見られるため、生活習慣との関係性も考えられます。

また、保護者から高評価をいただいている点は、「学校が生徒理解に努めた指導をし、悩み事等には相談にのり親身になっている」という姿勢です。教職員が生徒の背景を理解し、できうる限りの個別対応に真摯に取り組んでおります。今後も継続して教職員が一丸となって、生徒理解に努めてまいります。

教職員の自己評価は、自分たちの教育活動に対して自己肯定感が高い傾向です。これからも高い使命感と意欲をもち教育活動に取り組めます。

環境面では、本校創立から約60年を経過したため、校舎内外を修繕しながら大切に使用し維持しています。さらに市と連携し、ICTを利活用できる学習環境を整えてまいります。

令和7年度は地域に公開する学校行事を多く取り入れてきました。生徒がまちの年中行事に参画するボランティアも継続しています。民生委員や地域の方から、三中生徒への感謝の言葉が寄せられ、生徒にとって大きな励みとなっています。今後も未来のよき市民を育成し、学校を核としたコミュニティづくりを目指します。

教頭 荒川 恵美